

個別事業費	12,144 千円
交付金額	9,108 千円

地域の実情と課題

社会面・経済面など様々な問題を抱える女性が増加しており、支援が求められている。また、令和4年の「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」成立により、厳しい状況にある女性を支援する仕組みづくりが必要。

事業の特徴

令和6年度は、女性支援新法の施行に伴い、様々な困難や課題を抱える女性に対して、民間相談機関と連携した支援を実施するとともに、相談員の人材育成を行った。令和7年度は、これまでの民間相談機関との連携による支援を引き続き実施するとともに、業務実施機関同士での連携・情報共有に加え、幅広い機関との連携を実施し、これまで以上に寄り添った支援を行った。

事業の効果

様々な世代の女性から、経済問題・DV・性暴力・家族問題等多様な相談が多数寄せられた。特に民間団体に委託して実施した無料電話相談や無料カウンセリングは、困窮している女性でも無料で専門性の高い相談を受けることができると好評であった。また、SNS相談は気軽に連絡をすることができ、相談員にも匿名で事情を話すことができることから、若年層のみならず幅広い層からの相談が寄せられた。

目的・目標

経済団体等と行政(京都府・京都市・京都労働局)の連携による「輝く女性応援京都会議」(女性活躍推進法に基づく協議会)を母体として、京都府の女性活躍の推進、男女がそれぞれ抱える様々な問題の解消へ向けた総合的取組を各団体と連携し実施する。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業 目標	女性からの相談件数	3300件 (アウトプット)	3226件 (8年3月末時点)	97.8%

連携団体

連携団体名:輝く女性応援京都会議(23団体)

京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所、京都商工会議所女性会、京都府商工会議所連合会、京都府商工会議所女性会連合会、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都府中小企業女性中央会、一般社団法人京都経営者協会、一般社団法人京都経済同友会、公益社団法人京都工業会、京都府商工会女性部連合会、一般社団法人京都中小企業家同友会、日本労働組合総連合会京都府連合会、国際ソロブチミスト京都、国際ゾンタ京都クラブ、公益財団法人大学コンソーシアム京都、日本政策金融公庫、公益財団法人21世紀職業財団関西事務所、京都府男女共同参画センター、京都市男女共同参画センター

今後の課題

困難を抱える女性への支援が求められる中、女性相談による支援は重要性を増しているが、相談事業実施のための財源確保が課題となっている。

事業の概要

○困難な問題を抱える女性を対象にした無料の各種相談を民間団体と連携して実施

- ・ 電話相談やカウンセリングの実施(民間団体へ委託)
 - ①無料電話相談 607件
〔委託先:公益社団法人葵橋ファミリー・クリニック〕
 - ②無料カウンセリング 223件
〔委託先:株式会社ウイメンズカウンセリング京都〕
- ・ SNS相談の実施(民間団体への委託)
相談件数 1563件
〔委託先:特定非営利活動法人エンパワメントかながわ〕
- ・ 京都府男女共同参画センターの相談体制強化
電話相談の相談員を1名増員して体制を強化
相談件数 833件
〔委託先:一般財団法人京都府民総合交流事業団〕

○生理用品の配布

- ・ 各相談・カウンセリングの一環として、必要とされる方へ生理用品を配布した。
配布数 54パック
〔委託先:一般財団法人京都府民総合交流事業団〕

○幅広い支援機関との新たな連携実施(新規)

DVネットワーク京都協議会内で相談窓口の紹介を行い、リファーマ時には相互に連携して対応する旨を依頼した。エンパワメントかながわと京都府家庭支援総合センターにおいて、京都府を交えた情報交換を実施し、相談者のリファーマ時に必要となる事項や取組事例等の情報共有を行うことで、相談者をより適切な窓口につなげるきっかけとした。